

## 中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 液晶と金属－有機構造体の異種相間複合化と機能開拓
2. 研究代表者： 阿南 静佳（豊田工業大学 工学部 助教）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、多孔性の結晶と液晶という二つの異なる相を複合化し、結晶の静的な分子配列を外場として利用することで、液晶の多方向への配向制御と電場に応答する動的な光学結晶の実現を目指している。フェーズ1では、金属有機構造体(MOF)–液晶複合系において、当初期待していた複屈折特性、外場に対する多重安定性が得られており、予定通りの成果が得られていると評価できる。フェーズ2では、液晶/結晶複合材料ならではの現象、機能の追究が計画されており、興味深い成果の創出が期待できる。他の研究者との協働を強化することで、さらなる研究の発展が期待される。また、作製する物質系を他の系と比較し俯瞰することで系のもつ優位性についてより考察が進むことが期待される。

以上